

経済学部入学ガイダンス

教科オリエンテーション
(学部新入生)

京都大学経済学部

2020年 4月

卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数 140単位以上

- ▶ 全学共通科目 56単位以上
- ▶ 経済学部科目 84単位以上

ほとんどの科目は2単位科目

- ▶ 授業期間：前期（4月～8月上旬）後期（10月～2月上旬）
- ▶ 講義は週1回90分、計14週14回
- ▶ 通常は15週目に期末定期試験

※今年度は新型コロナウイルスへの対応のため変更の可能性がある。詳しくは「KULASIS」の掲示等を参照のこと。

1学期に履修科目として登録できる単位数の上限

- ▶ 30単位（うち、全学共通科目の上限は26単位）

※入門演習、授業期間外の集中講義科目、他大学等で履修する授業科目は対象外。

全学共通科目 56単位以上

外国語科目群（1回生時のみ時間割が確定済み）

- ▶ 英語を選択する場合 24単位以上
 - ▶ 英語はR 4単位、W・L 4単位
 - ▶ 第2外国語は初級8単位、中上級8単位以上
- ▶ 英語を選択しない場合 32単位以上
 - ▶ 1か国語につき初級8単位、中上級8単位以上

その他の科目群

- ▶ 人文・社会科学科目群
 - ▶ 英語を選択する場合 14単位以上
（「外国文献研究（経・英）A・B-E 1」4単位を含む）
 - ▶ 英語を選択しない場合 10単位以上
- ▶ 自然科学科目群 8単位以上
- ▶ その他の科目群 6単位以上
- ▶ 英語を選択する場合、上記のうちからE科目 8単位以上含むこと。

全学共通科目 56単位以上

全学共通科目の履修・単位取得要件、特に外国語科目群と「E科目」については「学生便覧」の説明をよく読むこと。

自然科学科目群では以下の数学科目の履修を強く推奨する。

- ▶ 数学基礎A・B 計8単位（時間割に指定済み）
- ▶ 理系用数学講義

理系学部生向け科目なので「特別履修」の手続きが必要。
詳細は全学共通科目履修の手引き「履修登録について」参照。

- ▶ 微分積分学（講義・演義）A・B 計6単位
- ▶ 線形代数学（講義・演義）A・B 計6単位
- ▶ 微分積分学続論Ⅰ・Ⅱ 計4単位
- ▶ 線形代数学続論 2単位

経済学部科目 84単位以上

科目区分	コース	理論・歴史コース	政策コース	マネジメントコース	ファイナンス・会計コース
入門演習 (1回生前期配当)		入門演習1 入門演習5 入門演習9	入門演習2 入門演習6 入門演習10	入門演習3 入門演習7	入門演習4 入門演習8
入門科目 (1・2回生配当)		ミクロ経済学入門 経済史・思想史入門 情報処理入門	マクロ経済学入門 現代経済事情	社会経済学入門 経営学入門	基礎統計学 会計学入門
専門基礎科目 (2回生以上配当)		ミクロ経済学1 社会経済学1 経済統計学 経営組織2 会計学1 マーケティング1	ミクロ経済学2 社会経済学2 財政学 経営学原理 会計学2 マーケティング2	マクロ経済学1 経済史1 金融論 経営戦略	マクロ経済学2 経済史2 計量経済学 経営組織1 経営財務
(国際化支援科目)		基礎環境経済論		基礎人的資源論	基礎組織行動論
専門科目 I (2回生以上配当)		経済数学1 経済数学2 社会思想史 経済学史 日本経済史 欧米経済史 公共経済学 農業経済論 経営史 国際経営史 現代日本経営史 市場構造と企業戦略 情報処理論1a、1b 情報処理論2a、2b	日本経済論 公共経済学 社会政策論 農業経済論 行動経済学 開発経済論 労働経済学 情報処理論1a、1b 情報処理論2a、2b	経営史 日本経済論 組織経済論 開発経済論 国際経営史 ITビジネス論 財務会計 管理会計 労働経済学 市場構造と企業戦略 情報処理論1a、1b 情報処理論2a、2b	経済数学1 経済数学2 国際経営史 行動経済学 ファイナンス工学 派生証券論 保険論 財務会計 管理会計 情報処理論1a、1b 情報処理論2a、2b

経済学部科目 84単位以上

科目区分	コース	理論・歴史コース	政策コース	マネジメントコース	ファイナンス・会計コース
専門科目Ⅱ (3回生以上配当)		アジア経済史 思想史の方法と対象 国際金融論 国際経済学 金融政策 現代経済思想 医療経済学 交通経済論 都市経済学 産業組織論 産業・企業成長論 動学的マクロ経済分析 国際貿易政策 比較経営論	比較経済システム論 市場経済移行論 世界経済論 国際金融論 国際経済学 経済政策論 地域産業論 地域開発論 国際農政論 租税論 金融政策 地方財政論 財政政策論 医療経済学 交通経済論 環境経済論 応用経済学 東アジア経済論 現代日本産業論 動学的マクロ経済分析 国際貿易政策	計画理論 意思決定論 経営情報論 国際経済学 産業組織論 医療経済学 人的資源管理論 応用経済学 現代日本産業論 オペレーション・マネジメント 流通論 環境経済論 イノベーション・マネジメント概論 国際経営論 国際貿易政策 比較経営論 サービス経営学	会計監査論 原価計算論 国際会計論 計画理論 意思決定論 経営情報論 国際金融論 国際経済学 金融政策 人的資源管理論 証券投資論 オペレーション・マネジメント イノベーション・マネジメント概論 流通論 国際経営論 国際貿易政策
特別科目		外国経済書講読(独、仏、英、中、韓・朝、西)		職業指導	
		2回生演習	演習	卒業論文	
法学部科目 (3回生以上配当)		憲法(統治機構) 民法(総論・総則・親族) 商法第二部 政治原論 西洋法制史	憲法(総論・憲法訴訟) 民法(物権) 刑法(総論) 法社会学 労働法	憲法(基本権) 民法(債権総論・相続) 国際法(総論・領域) 英米法概論 租税法	行政法(総論) 商法第一部 国際法(対人管轄・紛争) 行政学
特殊講義(全コース共通科目)					

経済学部科目 84単位以上

学部科目では、以下の科目を1回生の時点で履修することを強く推奨する。

- ▶ 入門演習（1～10のいずれか1科目に履修登録済み）
やむを得ない場合を除いて全回の演習に参加すること。
- ▶ 入門科目（9科目）
ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、社会経済学入門、基礎統計学、経済史・思想史入門、現代経済事情、経営学入門、会計学入門、情報処理入門

経済学部科目 84単位以上

選択必修科目（入門科目及び専門基礎科目）

※以下の選択必修①と②の2つの条件を満たす必要がある。

学 部 科 目	学部科目 84 単位以上（演習及び卒業論文の単位を含む）		
	入門科目及び専門基礎科目を以下のように定める。		
選 択 必 修 科 目	選 修 ①	<p>A群（ミクロ経済学、マクロ経済学） 入門科目：ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門 専門基礎科目：ミクロ経済学1、ミクロ経済学2 マクロ経済学1、マクロ経済学2</p>	左記のA群の入門科目から1科目（2単位）以上、専門基礎科目から1科目（2単位）以上を修得すること。
	選 修 ②	<p>B群（社会経済学、経済史、経済政策） 入門科目：社会経済学入門、経済史・思想史入門、 現代経済事情 専門基礎科目：社会経済学、経済史、財政学、 金融論</p>	左記のB群、C群、D群から任意の2群を選択し、それぞれ入門科目から1科目（2単位）以上、専門基礎科目から1科目（2単位）以上を修得すること。
		<p>C群（経営学、会計学） 入門科目：経営学入門、会計学入門 専門基礎科目：経営戦略、経営組織、経営財務、 マーケティング1、会計学</p>	
		<p>D群（統計学、計量経済学、情報処理） 入門科目：基礎統計学、情報処理入門 専門基礎科目：計量経済学、経済統計学、 意思決定論</p>	

演習、卒業論文

2 回生演習（1 回生の11月に参加申し込み）

- ▶ 前期と後期、別々に履修可能。

（ただし、教員によっては通年履修）

演習（2 回生の11月に参加申し込み）

- ▶ 年度を通じて同一の演習を履修。
- ▶ 4 回生以上は原則として前年度の演習が継続。

卒業論文（卒業予定年次の11月下旬に提出） 6 単位

- ▶ 卒業予定年次後期の演習参加者のみ提出可能。

定期試験・レポート

試験・レポートに関する注意事項やレポートの作成要領については「学生便覧」の説明をよく読むこと。さらに担当教員の説明を注意深く聞くこと。

成績の表示方法

令和2年度以降入学者

学部教育科目の成績表示は100点を満点とする点数とし、60点以上を合格とする。

成績表は素点のみを表示、成績証明書は評語のみを表示する。なお、成績証明書には評語がFの科目は表示しない。

素点	評語	適用基準	
96～100	A+	合格基準に達している	学修の高い効果が認められ、傑出した成績である／Outstanding
85～95	A		学修の高い効果が認められ、特に優れた成績である／Excellent
75～84	B		学修の高い効果が認められ、優れた成績である／Good
65～74	C		学修の効果が認められる／Fair
60～64	D		最低限の学修の効果が認められる／Pass
0～59	F	合格基準に達していない	不合格／Fail

※3年次編入学生及び転学部生は、経済学部生となった学年次の学生と同一表示とする。

(例) 令和2年度編入学生：平成30年度入学者と同一表示

令和2年度転学部生：許可された年次が2年次の場合、平成31年度入学者と同一表示

3年次の場合、平成30年度入学者と同一表示

Grade Point Average (GPA)

平成28年度以降入学者からGPA制度を導入する。

(1) 成績表評価は下表に基づきGPに変換します。

標語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

(2) GPAに算入する科目

全学共通科目と学部科目のうち、6段階評価が付されるすべての科目。ただし、特殊講義科目・経済学部開講の法学部科目、他学部科目（法学部提供科目以外）、既修得単位、留学中に取得した単位、教職科目は除く。

(3) 同一科目を複数回履修した場合の取扱い

正規単位のみGPAに算入する。ただし、当該科目に正規単位が存在しない場合（全て不合格だった場合）は1科目の成績（不合格：GP=0）のみをGPAに算入する。

(4) 不受験科目の取扱い

成績判定時点で履修登録されている全ての科目を成績評価の対象とする。

すなわち、受験しなかった試験または提出しなかった課題等に対して最低評価を与え、シラバスに記載された成績評価基準に従って成績評価を行う。

学士・修士5年プログラム（短修制度）

この短修制度は、経済学部での成績や面接により選抜された学生が経済学部4年次に大学院の科目の一部を受講し、修士論文作成に向けた研究指導を受けることができる制度です。また、これらの学生は、短修制度生を主な対象に行われる特別選抜入試を経て経済学研究科に入学した場合、「優れた研究業績を挙げた者について」は、修士課程を1年で修了できます。当該制度は、研究者への道を目指す学生と、高度専門人材として企業・官庁等で実務家として活躍することを目指す学生の双方に、トップ人材選抜型の最短コースを提供することを目的としています。

※詳細は、「学生便覧」を確認してください。

2020年度前期のスケジュール

4月 2日(木)～16日(木) 時間割作成期間

4月17日(金)～20日(月) 履修登録期間

4月23日(木)・24日(金) 履修登録確認修正期間

4月28日(火)17時 履修確定

4月29日(水)～5月5日(火) 履修登録確認表確認期間

6月18日(木) 創立記念日 (授業なし)

7月22日(水) 前期授業終了

7月23日(木)～29日(水) 前期試験期間

7月30日(木)～8月5日(水) 前期試験予備期間

8月 6日(木) 夏季休業始まり

※変更が生じた場合は随時「KULASIS」にてお知らせします。